

憲法闘争の中心的争点

「海外で戦争する国づくり」を許さない運動の発展の契機に 平和大会 in 沖縄に参加しましょう

国公労連中央執行委員 酒井 勝生

日本で唯一地上戦が繰り広げられた「沖縄」。今年の日本平和大会はこの沖縄にて開催されます。戦争の悲惨さを物語る多くの戦跡がある一方で、今なお、多くの米軍基地が配備されています。

米兵による婦女暴行、ヘリの墜落、頭上を多くの戦闘機などが飛び交う日常。そして、沖縄戦による「集団自決」の歴史を改ざんする動き。日本に暮らす国民を犠牲（福祉・医療など）にしてまでも押し進めようとする日米軍事同盟の再編強化。沖縄の自然を破壊してまでの基地移設。

日本政府は、自衛隊を海外派兵するために国民を無視した勝手な「法」をつくりあげ、海外派兵させ、戦争するアメリカに荷担をしています。そして、小手先の「法」だけではなく、改憲手続き法成立によって根本的に憲法をも改正し、自衛隊を軍隊としようとする戦争する国づくりすら着々と進めています。

世界規模で平和を望む声が多くなっている一方で、これらのことは本当に必要なのでしょうか？戦争のない平和な世界（日本）をつくっていくことは不可能なのでしょうか？頭上を戦闘機が飛び交い、爆弾が落とされ、銃弾が飛び交う事を私たちは望んでいるのでしょうか？

国公労連では、これらの問題に対して抗議をするなど、多くの仲間と共に憲法9条を活かし平和を守る運動にとりくんできました。引き続き、憲法改定の発議と国民投票の実施が可能となったいま、より一層9条改悪反対、改憲反対の過半数世論の形成をめざし、憲法闘争の中心的争点である「海外で戦争する国づくり」を許さない運動を重視してとりくむこととしていることから多くの参加を呼びかけます。

今回の大会では、沖縄戦跡などを巡る動く分科会（4コース）の他に、2つのシンポジウムと「米軍基地強化」「憲法9条」などについて考える多くの分科会（10分科会）が開催されます。百聞は一見にしかず...「2007年日本平和大会 in 沖縄」に参加して、過去～現在の生の沖縄を目で見て肌で感じ「平和」について参加者どうし話し合い、一緒に考えましょう。そしてこれからの平和運動に結びつけて行きましょう。

お知らせ

■ 動く分科会・第1次集約は明日11/1です

動く分科会への申し込みの問い合わせが始まっています。すでにご案内のように、今年の沖縄大会は、全参加者が南部戦跡や中部基地調査を行うのではなく、初参加者を優先しての南部戦跡3台、中部基地調査2台、辺野古海上調査・高江連帯にそれぞれ1台の計7台315人定員となっています。そこで、第1次集約を11月1日としたいと思います。都道府県名、団体・地域名、氏名、希望コース、平和大会および沖縄大会の参加回数を添え申し込み下さい。 * 数だけの申し込みの場合は、氏名での申し込みを優先します。

お詫びと訂正

■ 国際シンポおよびレセプションの費用について

大会開催要項の参加費では、国際シンポ5,000円、レセプション6,000円となっていますが、以下のよう
に訂正いたします。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。よろしく願い申し上げます。

訂正 国際シンポ参加費 6,000円(1日のみ3,000円)、レセプション 5,000円